

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—
話・聞：話す能力・聞く能力
書：書く能力
読：読む能力
言語：言語についての知識・理解・技能

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)	
A話すこと・聞くこと(1) 1年ウ 2年イ	1	一 話の内容を聞き取る。	話・聞	90.0	65.7	
A話すこと・聞くこと(1) 1年ア		二 話の要点を正確に聞き取る。	話・聞	70.0	80.9	
		三 話し手の意図を考えながら聞き取る。	話・聞	60.0	48.0	
C読むこと(3) 2年ウ	2	① 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。	読	80.0	78.6	
		② 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。	読	80.0	56.3	
言語事項(2) 1年ア 2年ア 言語事項(2) 1年イ 2年イ	3	一 ア 文脈の中で漢字[一筋(ひとすじ)]を正しく読む。	言語	80.0	92.6	
		イ 文脈の中で漢字[かいせい(快晴)]を正しく使う。	言語	70.0	61.0	
		ウ 文脈の中で漢字[か(借)りて]を正しく使う。	言語	70.0	68.1	
C読むこと(3) 2年ウ		二 表現の仕方や文章の特徴に注意して読む。	読	70.0	69.0	
言語事項(1) 1年イ 2年イ		三 文脈の中で語句や語彙を正しく使う。	言語	70.0	77.4	
		四 文脈の中で語句や語彙を正しく使う。	言語	80.0	88.5	
C読むこと(3) 1年ア		五 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解する。	読	65.0	74.4	
C読むこと(3) 1年エ		六 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりする。	読	70.0	80.3	
C読むこと(3) 1年ア		七 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解する。	読	60.0	25.9	
C読むこと(3) 1年エ	八 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりする。	読	70.0	70.3		
	九 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりする。	読	60.0	51.8		
言語事項(2) 1年ア 2年ア 言語事項(2) 1年イ 2年イ	4	一 ア 文脈の中で漢字[相違(そうい)]を正しく読む。	言語	90.0	59.5	
		イ 文脈の中で漢字[薄味(うすあじ)]を正しく読む。	言語	85.0	85.1	
		ウ 文脈の中で漢字[ていきょう(提供)]を正しく使う。	言語	65.0	43.2	
C読むこと(1) 1年ウ 2年イ		二 論理の展開をつかみ、接続語の内容をとらえる。	読	70.0	67.4	
C読むこと(1) 1年ア		三 文脈の中における語句の意味を正確にとらえる。	読	70.0	72.5	
C読むこと(1) 1年ア		四 文脈の中における語句の意味を正確にとらえる。	読	65.0	42.1	
C読むこと(1) 1年ア		五 文脈の中における語句の意味を正確にとらえる。	読	70.0	27.6	
言語事項(1) 1年イ 2年イ		六 文脈の中で語句を正しく使う。	言語	75.0	38.0	
C読むこと(1) 1年ウ		七 文章の構成を正確にとらえる。	読	60.0	11.8	
C読むこと(1) 1年エ		八 文章の展開に即して内容を理解し、要旨をとらえる。	読	65.0	59.2	
C読むこと(1) 1年カ 2年オ		九 文章の内容と比べながら、グラフから情報を正しく読み取る。	読	60.0	59.0	
B書くこと(2) 1年イ 2年イ		5	自分の考えや気持ちを明確にして書く。	書	65.0	77.3

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	話の内容	90.0	66.1	66.4	62.0	60.0	62.4	58.2	58.7	
	二	話の要点	70.0	82.1	82.4	78.0	81.7	83.5	74.9	84.2	
	三	話し手の意図	60.0	51.3	51.2	52.2	47.1	49.4	49.2	43.2	
2	①	「ゐたり」の現代仮名遣い	80.0	86.6	86.7	85.9	85.8	89.8	85.4	81.6	
	②	「あひかまへて」の現代仮名遣い	80.0	67.3	67.5	64.4	54.0	57.9	49.5	52.7	
3	一	ア	「一筋」の読み方	80.0	93.1	93.3	90.7	91.8	92.2	90.5	92.2
		イ	「カイセイ」の書き方	70.0	59.9	60.1	57.6	59.6	56.7	56.1	65.0
		ウ	「カ（りて）」の書き方	70.0	70.3	70.1	73.7	65.0	64.0	66.4	65.3
	二	表現の仕方や文章の特徴	70.0	77.7	78.3	68.3	65.4	68.7	63.0	63.3	
	三	語句や語彙の正しい使い方	70.0	79.0	79.2	75.1	77.8	80.6	75.7	76.2	
	四	接続語の正しい使い方	80.0	88.6	88.6	88.3	87.9	88.1	89.7	86.6	
	五	文脈の中における語句の意味	65.0	80.8	81.2	75.6	73.2	74.6	72.2	72.4	
	六	主題や要旨の把握	70.0	81.3	81.5	78.5	79.6	80.3	81.5	77.6	
	七	文脈の中における語句の意味	60.0	31.8	31.9	30.7	26.6	28.6	28.8	23.1	
八	主題や要旨の把握	70.0	72.9	72.8	74.1	70.9	72.1	67.7	71.6		
九	主題や要旨の把握	60.0	59.5	59.7	57.1	52.4	55.9	44.2	53.9		
4	一	ア	「相違」の読み方	90.0	72.9	73.4	66.3	56.6	56.7	58.5	55.4
		イ	「薄味」の読み方	85.0	84.9	84.8	85.9	85.6	84.4	87.6	85.5
		ウ	「テイキョウ」の書き方	65.0	43.8	44.2	37.1	38.8	42.2	29.6	41.2
	二	接続語の正しい使い方	70.0	62.8	63.7	50.7	67.2	67.0	65.3	68.5	
	三	文脈における語句の意味	70.0	75.7	76.0	71.7	74.6	75.9	74.1	73.5	
	四	文脈における語句の意味	65.0	45.3	45.4	43.9	38.0	40.6	38.6	34.9	
	五	文脈における語句の意味	70.0	29.7	29.4	32.7	26.5	26.0	24.9	28.1	
	六	「主観」の対義語	75.0	44.0	44.2	40.5	40.4	47.5	37.6	34.5	
	七	文章の構成	60.0	14.4	14.8	9.3	9.8	9.4	10.3	10.0	
八	要旨の把握	65.0	61.5	61.8	57.1	59.9	61.4	57.7	59.7		
九	グラフからの情報の読み取り	60.0	67.2	68.1	54.6	58.5	64.9	52.9	55.3		
5		条件に合った文章表現	65.0	81.1	81.3	78.5	76.2	80.0	75.9	72.3	
教 科 全 体			70.9	65.4	65.6	62.2	61.1	62.9	59.5	60.2	

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
65.5	63.5	70.3	70.7	66.4	67.4	66.9	66.6	68.2	70.3	70.8	68.6	66.0	67.7	60.2	65.7
80.9	80.9	85.6	76.8	78.9	83.1	84.1	80.5	83.7	72.1	71.9	72.8	80.0	79.1	82.9	80.9
49.0	49.7	46.9	49.2	47.7	47.6	51.0	43.3	47.2	41.0	39.7	45.6	46.6	46.9	45.7	48.0
77.2	78.3	87.4	72.1	65.3	72.7	84.1	60.7	70.1	64.8	65.7	61.5	75.8	75.5	77.0	78.6
57.6	60.3	60.5	52.5	45.8	48.1	63.0	32.8	44.5	45.3	46.4	41.4	53.9	53.7	54.8	56.3
92.4	92.7	93.1	92.6	90.0	91.1	92.0	91.1	90.3	93.9	93.3	95.9	93.4	93.9	92.0	92.6
63.2	60.7	71.0	65.0	65.9	56.2	59.9	54.5	54.3	71.3	70.1	75.7	61.4	62.8	56.8	61.0
65.2	67.0	64.4	59.9	61.5	67.3	67.6	74.8	63.2	67.2	67.3	66.9	70.6	70.7	70.5	68.1
65.2	71.3	58.5	55.9	50.7	64.2	67.9	63.4	61.8	62.9	63.4	60.9	70.5	70.5	70.5	69.0
76.0	77.2	77.9	69.7	73.4	77.7	76.7	80.5	77.1	77.1	76.8	78.1	76.8	76.0	79.6	77.4
88.9	89.5	89.7	89.6	84.6	88.8	90.2	89.4	87.3	85.7	85.0	88.2	88.9	89.6	86.8	88.5
76.4	77.6	77.4	70.4	74.3	69.9	71.8	66.2	70.4	63.3	64.9	57.4	72.8	73.6	70.2	74.4
80.6	81.6	81.5	78.8	75.9	79.8	82.3	79.3	78.2	77.5	77.8	76.3	80.3	81.0	77.8	80.3
26.5	27.1	28.2	23.6	24.1	21.5	24.3	19.5	20.3	19.5	19.6	18.9	24.0	24.5	22.2	25.9
71.9	74.6	72.3	69.7	60.2	66.8	75.4	64.1	61.5	64.3	64.4	63.9	69.8	70.8	66.4	70.3
52.7	51.9	64.6	44.8	50.4	45.6	44.3	44.4	47.3	41.0	40.0	44.4	50.0	50.7	47.7	51.8
59.6	59.1	63.1	62.3	56.1	50.4	56.8	51.2	45.2	49.2	47.5	55.0	56.3	56.9	54.3	59.5
85.2	85.3	83.6	86.9	85.1	83.7	85.1	80.8	84.2	83.6	85.5	76.9	86.2	86.1	86.6	85.1
42.3	42.2	44.6	45.8	37.7	42.7	50.0	36.6	40.2	48.1	47.5	50.3	44.6	45.8	40.7	43.2
68.5	68.7	71.0	69.0	64.8	69.9	74.0	69.1	67.1	68.8	67.8	72.2	68.8	69.7	65.5	67.4
70.8	71.2	69.7	70.4	70.5	70.9	78.6	67.9	66.4	68.9	70.4	63.3	71.7	71.9	71.0	72.5
41.2	42.5	41.8	40.4	34.7	39.4	41.5	36.6	39.2	36.6	37.3	34.3	44.9	46.0	41.1	42.1
27.5	27.3	26.4	33.3	24.7	25.1	26.0	23.0	25.4	27.7	28.8	23.7	28.0	27.6	29.6	27.6
29.8	29.1	28.7	29.3	34.7	30.2	39.1	26.6	25.2	34.2	34.5	33.1	44.3	46.9	35.9	38.0
9.7	10.9	7.2	9.8	6.8	11.0	13.4	9.1	10.1	8.8	9.2	7.7	13.3	13.9	11.1	11.8
60.1	59.9	59.7	62.6	59.6	56.6	60.8	52.2	55.6	53.5	54.6	49.7	58.7	58.6	59.0	59.2
59.0	59.4	65.1	53.9	54.2	53.9	56.7	53.7	51.8	42.6	42.2	44.4	58.8	58.8	58.6	59.0
73.3	74.0	71.3	61.3	82.1	77.3	82.8	75.9	73.7	73.1	74.2	69.2	78.7	80.0	74.5	77.3
61.3	61.9	62.9	59.5	58.1	59.2	63.1	56.9	57.5	57.6	57.7	57.0	62.0	62.5	60.3	61.9

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
話すこと・ 聞くこと	3	1二	1三	64.9	73.3
書くこと	1	5		77.3	65.0
読むこと	15	2①、3五、 3六、4三	2②、3七、 3九、4四、 4五、4七、 4九	56.4	67.7
言語事項	9	2一ア、3三 3四、4一イ、	4一ウ、4六	68.2	76.1

内容・領域別にみると、通過率の高かったのは、「書くこと」である。また、通過率が低かったのは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「言語事項」である。

設定通過率と比較しても同様に、上回ったのは、「書くこと」であり、また、下回ったのは「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「言語事項」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
話す能力・ 聞く能力	3	1二	1三	64.9	73.3
書く能力	1	5		77.3	65.0
読む能力	15	2①、3五、 3六、4三	2②、3七、 3九、4四、 4五、4七、 4九	56.4	67.7
言語につい ての知識・ 理解・技能	9	2一ア、3三 3四、4一イ	4一ウ、4六	68.2	76.1

観点別にみると、通過率の高かったのは、「書く能力」である。また、通過率が低かったのは「話す能力・聞く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」である。

設定通過率と比較しても同様に、上回ったのは、「書く能力」であり、また、下回ったのは「話す能力・聞く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」である。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
① 三	48.0	60.0	いろいろな人の立場に立つこと(5.0)、身の回りの人の立場に立つこと(3.0)など、無答(16.0)
③ 七	25.9	60.0	卵が孵化しそうだから(16.0)、どうしても少年に孵化の場面を見せたいから(7.0)、少年が来そうに思われたから(7.0)、無答(16.0)
③ 九	51.8	60.0	孵化の場面を見せたかったから(8.5)、卵にひびが入ったから(7.5)、生徒を呼びに行ったから(3.5)、無答(14.5)
④ 一ウ	43.2	65.0	「提共」(9.0)、「提協」(4.0)など、無答(32.0)
④ 五	27.6	70.0	「感覚」(46.0)、「人間」(7.3)、無答(10.0)
④ 六	38.0	75.0	「対称」・「名詞」など問題とは関連のない二字の熟語(34.4)、無答(32.6)
④ 七	11.8	60.0	Ⓑ-Ⓗ(17.3)、Ⓑ-Ⓓ(13.3)、Ⓖ-Ⓗ(12.0) Ⓕ-Ⓗ(9.3)、無答(9.3)

- ① 三について

誤答の原因として、話の中に出てくる語句には注意をはらって聞いているものの、話し手の意図を考えながら聞こうとしていないため、正確に聞き取ることができなかったことが考えられる。

- ③ 七について

誤答の原因として、飼育器の卵の様子から、今日じゅうに孵化しそうだという状況描写に視点が向き過ぎたため、前日うかない顔で帰路についた少年を、紺野先生が心配していることについては読み取れなかったものと考えられる。

- ③ 九について

誤答の原因として、直前の「ひびが入り始めた」という状況描写から、その様子を見せたいという思いが先行してしまったため、送信器からハッチーアウトの瞬間の音が少年に届けられることについては読み取れなかったものと考えられる。

- ④ 一ウについて

無答が多いこと、また、どちらか一方の漢字が書けていないことから、語彙力が不足しているため、熟語として正しく書けなかったものと考えられる。

- ④ 五について

誤答の原因として、「感覚」という答えが多かったことから、「さまざまな感覚の中から『食べ物』に対する感覚を答える」という、問題の読み取りが不十分であったことが考えられる。

- ④ 六について

誤答の原因として、無答の割合が32%を超えることから、「主観」という言葉の日常における使用頻度の少なさや語彙力不足が考えられる。また、問題とは関連のない解答が多いことから、「対義語」についての理解不足も考えられる。

● ④七について

誤答の原因として、第二段落の始まりを[B]とした誤答が45%を超えることから、[A]と[B]の段落関係を正しく把握できなかったことが考えられる。また、問題中にある小見出しを解答の手がかりとして活用できなかったことも考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、これまで同様、「読むこと」、「言語事項」に関する指導の充実が挙げられる。

今後の学習指導において、「読むこと」では、文学的文章において、「文章の展開に即して場面の状況をとらえたり、登場人物の描写に注意しながらその心情を読み取ること」、「辞書等を活用することによって、文脈における語句の意味をとらえて読むこと」、「表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと」、「叙述に即して展開をpushさえながら、書き手の思いや心情を読み取り、そのことについての自分の考えをもつこと」、また、説明的文章において、「文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること」、「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえること」の指導の充実を図る必要がある。

さらに、「言語事項」に関しては、「文脈の中で漢字を正しく使うこと」、「文脈の中で語句を正しく使うこと」の指導の充実を図る必要がある。

評価の観点別にみた課題としては、文章の展開に即して場面の状況をとらえたり、会話や行動から登場人物の心情をとらえたりすること、書き手の考えの進め方や説明の仕方など文章の展開に即して内容をとらえたり、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見を読み分けたりすることなどの「読む能力」の育成と、文脈に沿って漢字や語句を正しく使うことなどの「言語についての知識・理解・技能」の育成が挙げられる。

今後の学習指導において、「読む能力」の育成では、次のような指導の充実を図る必要がある。

《文学的文章における「読むこと」の指導》

- ・文章の展開に即して、場面の状況をしっかり読み取ること。
- ・登場人物の心情や行動、情景描写などに注意しながら読み進めること。
- ・表現の仕方や描写の効果に着目し、登場人物の言動の意味を考えること。
- ・辞書等を活用し、文脈における語句の意味をとらえて読むこと。
- ・叙述に即して展開をpushさえながら、書き手の思いや心情を読み取り、そのことについての自分の考えをもつこと。

《説明的文章における「読むこと」の指導》

- ・文脈の中における語句の意味を正確にとらえるように読むこと。
- ・段落の果たす役割や段落内の各文の接続関係を考えながら読むこと。
- ・指示語や接続語、文末表現、強調表現等に注目して読み取ること。
- ・中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分けること。
- ・目的や必要に応じて要約したり、要旨をとらえたりすること。
- ・文章の構成や展開の仕方をとらえ、自分の表現に役立てること。

《文学的文章と説明的文章の「読むこと」に共通する指導》

- ・文章の構成や展開、表現の特徴などについて「自分の考えをもつ」こと。

また、「言語事項」に関しては、次の点に留意し、指導の充実を図る必要がある。

- ・新出漢字だけではなく、既習の漢字についてもその定着度を確認したり、計画的に繰り返し指導すること。
- ・取り立て指導だけではなく、各領域の学習の中で活用させたり、繰り返し指導する場面を意図的に設定すること。
- ・言葉の決まりに関することや、慣用句、熟語、辞典の使い方など語句に関することについて、系統的に指導すること。

「話す能力・聞く能力」の育成については、話の全体像をつかみ、話し手の意図を的確に把握し、話の内容をとらえながら適切に聞き取る力を身に付けるために、単語・短文、箇条書き、5W1H、数値や固有名詞の正確さ、体言止め等に留意し、聞き取りメモを活用するなど、具体的な言語活動を通して聞き取る力を育成していくことが大切である。

「書く能力」の育成については、どの単元においても、できるだけ「書く」活動を位置付け、書き慣れさせるようにすること、その際、実生活や経験と照らし合わせて自分の考えを述べさせることが大切である。また、作品の発表や掲示等を工夫し、相手意識・目的意識をもたせ、意欲付けを図ること、短作文等の評価の工夫やワークシートの工夫により、個に応じた指導の充実を図ることが大切である。

全体的な指導上の留意点として、昨年度も触れたが、何についてどのように答えるのか、出題のねらいや意図を理解させてから、考えたり答えたりするよう指導すること、その際、字数・使用語・文末などの条件に着目させるなどし、多様な形式に「段階的に慣れさせる」ことが大切である。

今回、いわゆる「PISA型読解力」を見るために、4九のように、文章の内容と比べながら、グラフから情報を正しく読み取る問題を出題したが、結果はおおむね良好であった。今後も、複数の資料を比べて、共通点や相違点、変化を見いだしたり、目的に応じて活用したりするような学習活動に積極的に取り組ませる必要がある。また、連続型・非連続型のテキスト両方から情報を読み取ったり、様々な条件の下で書く活動を、意図的に数多く経験させたりすることも肝要である。

さらに、「思考力」を育成するために、自らの体験と結び付けて読ませたり、読み比べて考えさせたりすること、教材を分析的・批判的に読ませたりすること、根拠を明確にして話し合う活動を多くしていくことも大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「言語事項」の充実が挙げられる。特に、「読むこと」において、文章の構成を正確にとらえる問題では、設定通過率を60%としたが、実際の通過率は11.8%にとどまった。

今後の学習指導においては、段落相互の関係を正しく押さえ、より大きな意味のまとめごとと文章における役割をとらえる力を育成することが必要である。

キ まとめ

「書く能力」については、3年連続設定通過率を大きく上回り、順調に「書く能力」の育成が図られている状況が見られた。しかし、「読む能力」や「言語についての知識・理解・技能」については、極端に通過率の低い問題もあり、指導の改善・充実が求められる。

学習指導要領改訂の方向性を視野に入れながら、今後の授業改善の視点として、

- ① 育成を目指す言語能力を明確にして指導すること
- ② 言語活動例の具体化を図り、計画的に指導すること
- ③ 子どもの主体的な学習と「伝え合い」を重視して指導すること

が挙げられる。

自分の考えをもち、論理的に意見を述べたり聞き取ったりする能力、目的や場面などに応じて適切に文章表現する能力、さらに、目的に応じて的確に読み取る能力や読書に親しむ態度を一層高めていくための学習指導法の工夫が必要である。